

日本歯内療法学会認定医申請・認定指導医更新症例 JEA 認定審議会 ver.2\_11

症例番号

術者氏名：  
漢字記載 例) 山田太郎

患者氏名：  
イニシャル記載 例) M.S

部位：  

7	

診断名： 不可逆性歯髄炎

- ◆必要事項(氏名、診断名、症例番号、部位、経過年月など)を各スライド枠内に入力して下さい。
- ◆X線写真のJPEGファイルは以下のスライド画像枠に「図の挿入」を選び挿入して下さい。
- ◆印刷はA4サイズの光沢紙に、「配布資料/1頁に2スライド」、「グレースケール」の設定で行って下さい。
- ◆各症例毎に3枚：本表紙+術前、術中+術直後、術後経過(1)+術後経過(2)が1組です。(5症例：15枚)

日本歯内療法学会認定医申請・認定指導医更新症例 JEA 認定審議会 ver.2\_11

症例番号： - (1) : 術前X線写真

撮影日  年  月  日



日本歯内療法学学会認定医申請・認定指導医更新症例 JEA認定審議会 ver.2\_11

症例番号: 1 - (2): 根管長測定X線写真  
(またはラバーダム防湿時の根管口部明示の口腔内写真)

撮影日 2012 年 11 月 15 日

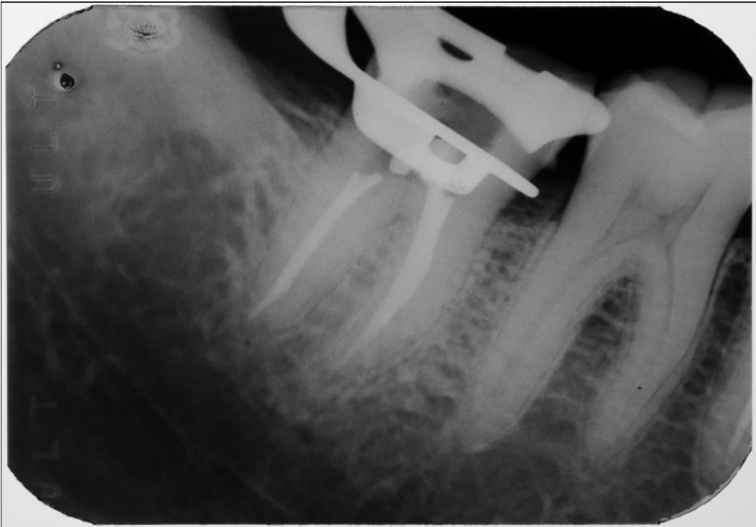


This is a periapical radiograph of a tooth. A white file is inserted into the root canal to measure its length. The root canal is clearly visible, and the file's tip is positioned at the end of the canal. The surrounding bone structure is also visible.

日本歯内療法学学会認定医申請・認定指導医更新症例 JEA認定審議会 ver.2\_11

症例番号: 1 - (3): 根管充填直後のX線写真

撮影日 2012 年 11 月 25 日

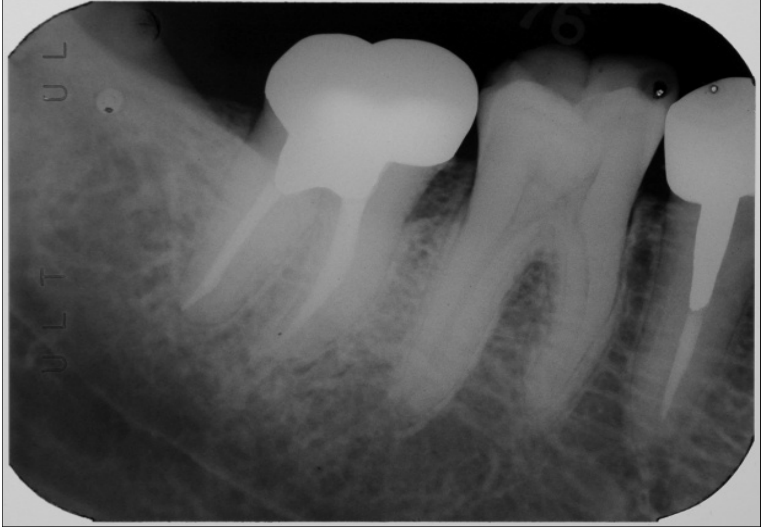


This is a periapical radiograph of the same tooth, taken immediately after root canal obturation. The root canal is now filled with a radiopaque material, indicating successful obturation. The surrounding bone structure remains visible.

日本歯内療法学学会認定医申請・認定指導医更新症例 JEA認定審議会 ver.2\_11

症例番号: 1 - (4) : 術後  年 3 か月経過のX線写真  
(術後3か月以上経過のこと)

撮影日: 2013 年 2 月 26 日



日本歯内療法学学会認定医申請・認定指導医更新症例 JEA認定審議会 ver.2\_11

症例番号: 1 - (5) : 術後  年 6 か月経過のX線写真  
(術後6か月以上経過のこと)

撮影日: 2013 年 5 月 28 日

